

日本発ドイツ便り：春の訪れは地中から

日本も同じですが、ドイツで春が「公式」に始まるのは、Frühlings-Tagundnachtgleiche（「春分の日」）。日本と違って、ドイツでは春分の日は祝日ではありません。大体3月20日か3月21日。ただ、ドイツは冬が長くて寒いので、この日の時点でFrühling（フリューリング：春）を感じるにはまだまだ早い感じです。

その次にやってくるのが、3月の最終日曜日、Sommerzeit（ゾンマーツァイト：サマータイム／夏時間）の始まり。この日を境に、日本時間との時差は8時間→7時間になります。まだまだ寒くても、日は長くなって、4月に入れば（サマータイムの影響もちろんありますが）夜9時近くになってやっと日が暮れてくる感じです。冬の間は夕方4時を過ぎれば暗くなるドイツで、皆がどれだけ春を待っているか分かるでしょうか？

そしてその次がOstern（オスターン：イースター／復活祭）。十字架にかけられて死んだイエス・キリストが三日目に復活したことを記念するキリスト教のお祭りです。これは「春分の日後の最初の満月の次の日曜日」と決まっているようで毎年日程が異なります。まあ4月ですね。このあたりでだんだん「春」を肌で感じられるようになるのですが、ドイツでは4月でも特に前半くらいまでは、暖かい日もあるけれど、雪が降る日だって珍しくはありません。

そして…。気温が20℃位になると、待ちに待った美味しい「春の訪れ」は地中からやってきます。

いい加減毎年シツコイですが、**Spargel**（シュパーゲル：アスパラ）です。



シーズン開始はもちろん地域によって異なりますが、毎年「シーズン開始！」って新聞¹やテレビの記事になりますよ。今年2015年は寒さのお蔭でちょっと例年より遅い4月10日過ぎからシーズンがスタートし

¹ Spargelの収穫の様子に興味のある方は <http://bcove.me/e46q06o9> ご覧になってみてください。(動画の最初の数秒はCMが流れます。) Handelsblatt というドイツの新聞のオンライン版の「シーズン開始！」記事中の動画です。

ました。(シーズンの終わりは毎年6月24日のJohannistag(聖ヨハネの日)と決まっています。)

もちろん、今の時代、2月とか3月はトルコやスペイン、冬の間だって南米から届いた Spargel をお店で買うことが可能ですが、皆が待っているのはやっぱりドイツの、地元で獲れた新鮮な Spargel です。



レストランでは Spargel 料理が並びます。ただ、レストランで食べられるのは供給量の安定する、4月下旬から5月中くらいまでのこと。(これは去年の苦い経験から学びましたね…。) ちなみに「メイン」として食べる場合の1人分=500グラムが標準です。一番多いのが、シンプルに茹でたてを食べる! というものです。お供はもちろん Neue Kartoffeln (ノイエ・カルトツフェルン:新じゃがいも) です。Neue Kartoffeln も、「お供」とか「付け合せ」と言うよりは、W 主役じゃないかと私は常々思っています。



甘みとほのかな苦味。大地からの春の贈り物 Spargel。今年もおいしくいただきます！
5月はドイツへ「Spargelの旅」はいかがでしょう？◎